

『高次脳機能障がいのある方への支援ヒント集～府内事業所の実践例より～』についての概要

1. 作成の目的

障がい福祉サービス事業所、相談機関等の支援者が、高次脳機能障がいのある方の対応に悩んだ際に支援のヒントになる事例集を作成することにより、高次脳機能が支援に係る地域の支援力の向上を図る。

2. 作成の経過

府内日中活動系の障がい福祉サービス事業所に対するアンケート調査を実施し、その調査結果をもとに、支援者が対応に困る場面やできごと等を分析し、高次脳機能障がいのある方の行動や症状に対して、なぜそのような行動や症状が生じているのかを考えるポイントや、対応例を掲載した事例集を作成。

3. 支援ヒント集の構成及びポイントについて

【第1章】高次脳機能障がいのある方を支援する際のポイント

○高次脳機能障がいの症状や高次脳機能障がいのある方を支援する際の基本的なポイントを掲載。

【第2章】支援上の悩みへのアプローチ～府内事業所の実践例より～

○アンケート調査やヒアリングにて収集した府内事業所の実践例を支援上の悩みごとに分類して掲載。

○支援上の悩みが生じた際に、どのように見立て、どのように試行錯誤しながら取り組んだかということがわかるよう、

①支援上の悩み⇒②想定した原因⇒③実践例という形式で掲載。

また、身体面、心理面、環境面などの様々な視点から検討する必要があることを伝えるため、多様な「②想定した原因」と③実践例」を掲載。

○事業所で、どのように見立て、取り組んだのかがわかるよう、視覚的にも理解しやすいよう具体的なツールの写真やイラストを掲載。

【第3章】事業所での取り組み事例

○事業所で試行錯誤しながら、取り組んでいく支援過程がわかるよう事例を掲載。

また、当事者・家族の視点を大切にできるよう、当事者・家族の体験談をコラムとして掲載。

【第4章】事業所での対応に悩んだ場合は

○精神科受診のタイミングや留意点等、医療との連携について、支援者が判断できるようなポイント等を掲載。

4. 今後について

本冊子を活用して、府内関係機関（市町村・医療機関・福祉サービス事業所等）に対する研修や事業所へのコンサルテーションを展開することにより、府内関係機関の支援力向上を図る。